

2009年2月26日

各 位

会社名	新華ファイナンス・リミテッド (URL : www.xinhuafinance.com)
代表者	最高経営責任者 (CEO) ジェイ・リー (東証マザーズ コード番号 : 9399)
連絡先 :	最高財務責任者 (CFO) デビッド・ワン (電話 : 香港 852-3196-3939)
連絡先 :	ディレクター、IR 部 山田 佳孝 (電話 : 03-5403-4832)

特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

新華ファイナンス・リミテッド (以下「当社」) は、新華ファイナンス・グループ (以下「当社グループ」) 内で特別損失が以下のとおり発生し、また、2008年11月28日付けで公表した連結業績予想を以下のとおり修正致しましたのでお知らせ致します。

1. 特別損失の発生

当社グループは、貸倒引当金繰入額約 25,500 千米ドル (2,321 百万円) を特別損失として新たに認識致しました。当該額は主に、リーマン・ブラザーズ・ホールディングス・インクが発行し、新華ファイナンス・メディア・リミテッド (以下「新華ファイナンス・メディア」。当該名称は、2009年2月15日付けで新華スポーツ・アンド・エンターテイメント・リミテッド (Xinhua Sports and Entertainment Limited) に変更されております。) が保有する元本保証付株価指数連動債券に対する貸倒引当金繰入額により占められております。

当社グループは、当社の無形資産価値の評価に直接大きな影響を与える経済環境の悪化を主要な原因として、約 171,000 千米ドル (15,566 百万円) の減損損失を特別損失として新たに認識致しました。当該損失のうち 165,000 千米ドル (15,020 百万円) は新華ファイナンス・メディアによるものであり、残りの 6,000 千米ドル (546 百万円) は、主に当社のマーケット・ニュース・インターナショナルなどの非中核事業の資産や子会社の株式の売却によるものです。

当社グループは、関連会社である新華ファイナンス・メディアに対する投資に関連した追加的なものの減損損失約 95,000 千米ドル (8,648 百万円) を特別損失として新たに認識致しました。新華ファイナンス・メディアは、2008年12月31日付けで連結範囲から外れており、現在は関連会社として会計上扱われております。新華ファイナンス・メディアの純資産は、その無形資産の評価損により減少しており、その結果、繰り越された当社の新華ファイナンス・メディアに対する投資持分額についても減額されております。

2. 2008年通期の連結業績予想（日本GAAP）の修正（2008年1月1日～2008年12月31日）

（単位：千米ドル、括弧内は百万円、但し%を除く）

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	280,335 (25,519)	19,010 (1,730)	25,055 (2,281)	30,645 (2,790)	80,156 (7,297)
今回修正予想 (B)	280,335 (25,519)	0 (0)	45,000 (4,096)	55,000 (5,007)	268,000 (24,396)
増減 (B - A)	0 0	19,010 (1,730)	19,945 (1,816)	24,355 (2,217)	187,844 (17,099)
増減率 (%)	-	100.0%	-	-	-
(参考) 前期実績 (2007年通期)	257,676 (23,456)	28,672 (2,610)	13,073 (1,190)	14,830 (1,350)	23,497 (2,139)

1. 適用為替レート：1米ドル=91.03円（2008年12月30日現在の東京外国為替市場における外国為替相場（仲値））
2. 2008年11月28日付けの業績予想において適用された前回発表予想の為替レートは1米ドル=100.00円でしたが、今回91.03円に変更されております。
3. は損失を示します。

（注）：業績予想は、現在入手可能な情報に基づいており、様々な予測できない要素が存在することから、実際の業績はこれらの予想と異なる場合があります。

3. 修正の理由

当社は、従前予想されなかった貸倒引当金約12,000千米ドル（1,092百万円）、予想より増加した現金支出を伴わない株式報酬費用約2,000千米ドル（182百万円）及び従前計上されていなかった一回性の費用5,000千米ドル（455百万円）を主な理由として、2008年通期連結業績予想のEBITDAの予想を19,010千米ドル（1,730百万円）から0千米ドル（0百万円）に修正致します。

また、かかるEBITDAの減少を主な理由として、2008年通期連結業績予想の営業損失の予想を25,055千米ドル（2,281百万円）から45,000千米ドル（4,096百万円）に修正致します。

上記のほか、当社は、かかる営業損失の拡大および従前予想されなかった支払利息を主な理由として、2008年通期連結業績予想の経常損失の予想を30,645千米ドル（2,790百万円）から55,000千米ドル（5,007百万円）に修正致します。

更に、主に経常損失が拡大したことに加えて、以下に掲げる主要な理由によって、2008年通期連結業績予想の当期純損失の予想を80,156千米ドル（7,297百万円）から268,000千米ドル（24,396百万円）に修正致します。

- ・ 減損による貸倒引当金約25,500千米ドル（2,321百万円）。これは主に、リーマン・ブラザーズ・ホールディングス・インクが発行し、新華ファイナンス・メディアが保有する元本保証付株価指数連動債券に対する貸倒引当金繰入額により占められております。
- ・ 当社の無形資産価値の評価に直接大きな影響を与える経済環境の悪化を主要な原因とする約171,000千米ドル（15,566百万円）の減損損失。
- ・ 関連会社である新華ファイナンス・メディアに対する投資に関連した追加的なのれんの減損損失約95,000千米ドル（8,648百万円）。新華ファイナンス・メディアは、2008年12月31日付けで連結範囲から外れており、現在は関連会社として会計上扱われております。新華ファイナンス・メディアの純資産は、その無形資産の評価損により減少しており、その結果、繰り越された当社の新華ファイナンス・メディアに対する投資持分額についても減額されております。
- ・ 新華ファイナンス・メディアの2008年度の実績に計上された相当額のものれん及び資産の減損のうち、約117,000千米ドル（10,650百万円）は少数株主の負担分となり、当社グループに与える影響からは除かれ、当該金額は当社グループの損失にはなりません。
- ・ さらに、新華PRニュースワイヤーの事業に関わる権利等を売却したことによる事業譲渡益や従前見込んでいたよりも低い税負担などを主な理由として、約11,000千米ドル（1,001百万円）が合算されます。

(参考) 国際財務報告基準 (IFRS) に基づく業績予想

1. 2008年通期の連結業績予想 (IFRS) の修正 (2008年1月1日~2008年12月31日)
(単位: 千米ドル、括弧内は百万円、但し%を除く)

	売上高	E B I T D A	当期純利益
前回発表予想 ¹ (A)	280,335 (25,519)	66,788 (6,080)	114,789 (10,449)
今回修正予想 ² (B)	280,355 (25,519)	457,000 (41,601)	342,000 (31,132)
増減 (B - A)	0 0	390,212 (35,521)	227,211 (20,683)
増減率 (%)	-	-	-
(参考) 前期実績 ⁴ (2007年通期)	257,676 (23,456)	39,045 (3,554)	56,466 (5,140)

- 適用為替レート: 1米ドル=91.03円 (2008年12月30日現在の東京外国為替市場における外国為替相場 (仲値))
- 2008年11月28日付けの業績予想において適用された前回発表予想の為替レートは1米ドル=100.00円でしたが、今回91.03円に変更されております。
- は損失を示します。

(注): 業績予想は、現在入手可能な情報に基づいており、様々な予測できない要素が存在することから、実際の業績はこれらの予想と異なる場合があります。

本書における上記の業績予想に関する記載は、本書の日付現在において経営陣に入手可能な情報に基づいています。予想には様々なリスク及び不確実性が内在しており、実際の業績及び結果はこれらの予想と大きく異なる場合があります。投資家の皆様は、投資判断を行うに当たって、本書に記載される業績予想のみに依拠することのないようご留意下さい。業績予想につきましても随時見直しを行い、開示ルールに従って公表していく予定です。